



| | |
|--------------|---|
| Title | WHOニュース 11月/12月/1月 |
| Author(s) | |
| Citation | 目で見るWHO. 2023, 84, p. 24-29 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://doi.org/10.18910/92357 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka



非感染性疾患の予防と管理のためのヘルスリテラシー

この報告は、非感染性疾患（NCDs）の予防と管理のためのヘルスリテラシー育成への実用的なアプローチを提供するもので、全4巻で構成。

世界ワクチン市場報告書 2022

WHOの「世界ワクチン市場報告書 2022」によると、貧しい国々は常に裕福な国々に需要のあるワクチンへのアクセスが大きな障害になっているとしている。

WHO：福祉用具に関するオンライン研修

増加する支援製品へのアクセスニーズに応えるため、オープンアクセス・オンライン学習プラットフォーム「Training in Assistive Products (TAP)」配信開始。

「ワンヘルス」セオリー・オブ・チェンジ（変化を起こすために必要な理論）

ワンヘルス・ハイレベル専門家パネルは、ワンヘルス活動を行う他の組織、機関、イニシアチブに概念的枠組みを提供。『健康の脅威を予防、予測、検出、対応する能力を高め、人間、動物、植物、環境の健康を向上させ、持続可能な発展に貢献する世界』を生み出すことを支援。

効果的な遠隔医療サービスを実施するための統合ガイド

政策立案者、意思決定者、実施者が遠隔医療の実施を設計・監督する際の指針となる新しいガイドを発表。デジタルヘルス介入を計画・実施するための体系的なプロセスを提供する「WHO デジタル投資実施ガイド」を補足。

WHO：メンタルヘルス・eトレーニング・プログラム

プログラムは、国際看護師協会（ICN）の承認を得て認定看護師継続教育ポイントの基準を満たし、これの全コースを修了した看護師および看護学生は、24時間の継続的専門能力開発学習の修了を認められ、国際継続看護教育単位（ICNEC）が付与。

「家族計画ハンドブック（改訂）」

「家族計画ハンドブック」更新版を発表。緊急時、流行時の家族計画サービスの継続を支援する実践的な対策について詳述。このハンドブックを補完する「避妊具使用のための医学的適格性基準ツール」を専用アプリとしてダウンロード可能。

あなたの人生、あなたの健康 – 健康とウェルビーイングのためのヒントと情報 –

WHO リソースガイドは「健康と幸福のためのヒント、情報を健康とウェルビーイングに関連する重要なトピック、方法、権利に関する基本情報」を5つのセクションで提供。

さらに学びたい人は、WHO のビデオ・インフォグラフィックス・ファクトシートへのリンクを通じてより詳細な情報にアクセスすることも可能。

早産児、低出生体重児のための新しいガイドライン

WHO は、早産（妊娠 37 週未満）または低出生体重（出生時体重 2.5kg 未満）で出生児の生存率と健康状態を改善するための新しいガイドラインを発表。

これまでの指針や一般的な臨床実践から大きく変化。また、ストレスや困難に対する、精神的、経済的、職場的サポートを確保するための推奨事項を定めている。

世界口腔保健状況報告書

口腔疾患の代表的なものは、う蝕（虫歯）、重度の歯周病、歯の喪失、口腔がん。口腔衛生状態を改善するため、プライマリーヘルスケアにおける口腔保健サービスの統合を向上させること等を提言。

「衛生安全計画」第2版

この SSP マニュアルは、「衛生と健康に関する 2018 年 WHO ガイドライン」

注) 本サマリーは、WHO 発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう 標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



と「農業・養殖業における廃水、排泄物、雑排水の安全利用のための2006年WHOガイドライン」の実施を支援する実用的・段階的ガイド。

【備考】衛生安全計画第1版（日本語）は「国立保健医療科学院」のサイトに掲載。

医療機器のグローバルアトラス2022

グローバルアトラス2022年版は、医療機器などが持続可能な開発目標（SDGs）の達成をどのように支援または阻害しているかを明示。医療機器に関する最新情報を分野・国別に紹介。

マラリアガイドライン

オンライン・プラットフォームにまとめたマラリアに関するWHOの最新の勧告（Recommendations）で、これまでの「マラリア治療ガイドライン第3版」と「マラリア媒介蚊制御ガイドライン」の2つの出版物に取って代わる、内容も刷新、追加されたガイドラインである。

WHOとWMO：気候変動と健康に関するナレッジプラットフォームを立ち上げ

WHOとWMO（世界気象機関）は、気候変動と健康に関する初のグローバルな知識プラットフォーム「climahealth.info」を立ち上げ。気候変動やその他の環境災害による健康リスクから人々を守るために、技術的な情報を求める声が高まっていることに対応。

健康のためのシステム：誰もが役割を担っている（HPSRとWHOの報告書）

健康政策とシステム研究アライアンス（HPSR）とWHOは、「健康のためのシステム」を、「既知と未知、現在と将来の脅威の両方に対応できるシステム」と定義し、SDG3の達成に不可欠な健康のためのシステム開発について、政策立案者、実施者、開発パートナー、コミュニティに対する実践的な提言を提供。

第45回コーデックス委員会

国連食糧農業機関（FAO）とWHOによる第45回コーデックス委員会で採択が予定される規格・ガイドラインは以下の通り。

- 栄養失調治療食（RUTF）
- 植物油の名称

- 生物学的食中毒の管理
- 食品衛生の一般原則の改訂
- アフリカ地域の食品安全法制開発
- 穀物を原料とする製品中のアフラトキシンの最大基準値
- 公衆衛生上の懸念が低い化合物に関するガイドライン
- Fresh Dates
- チリペッパー、パプリカなど香辛料規格

身体活動を促進するデジタルアプリをリリース – 子どもたちの運動不足解消に

WHO、カタール公衆衛生省、FIFAは、若者の身体活動を増やし、健康と幸福を増進するために設計された新しいデジタルアプリ「GenMove」を発表。

「GenMove」は、高度な動作追跡と人工知能（AI）技術を組み合わせたゲームアプリで、あらゆるレベルの体力を持つ子どもたちに適用できる。

11月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。
<https://japan-who.or.jp/factsheets/>

- 更年期障害
- トラコーマ
- 結核
- 労働衛生：医療従事者
- HIV
- 子どもの肺炎
- 早産
- HIV薬剤耐性



オンラインにおける子どもの安全を守るための戦略（報告書）

WHO が発表した新しい報告書「子どもに対するオンライン暴力を防ぐために有効なこと」では、世界中で関心が高まっている「オンラインにおける子どもの安全を守るための方法」を提示。WHO は、子どもに対するあらゆる形態の暴力をよりよく理解し、国際的な対応を導くため既存の取り組みに貢献を約束

宗教と持続可能な開発に関する国連機関間タスクフォース、年次報告書

WHO は「宗教と持続可能な開発に関する国連機関間タスクフォース」のメンバーとして、信仰に基づく組織やネットワークを巻き込んだ国連システムの活動を支援し、WHO をはじめとする国連機関が信仰パートナーとの調整と協力を進めるためにとったイニシアチブを概説。

「すべての人のための健康の経済学」評議会の初年度報告書

WHO 「すべての人のための健康の経済学 :the Economics of Health for all」評議会は、その使命の半分にあたる1年を迎えた時点で、その活動報告を発表。4つの基本的な柱の概要を示し、「何を評価し測定するか、どのように資金を提

供するか（またはしないか）、イノベーションを促進するアプローチ、誰がその利益を享受するか（またはしないか）、共通の基本的物品を提供」など、健康享受の現状・能力を評価。

世界の保健医療支出：パンデミックの課題に立ち向かう（報告書）

世界の保健医療支出報告書が発表され、世界各国の政府が COVID-19 の出現とそれに伴う健康・経済危機が支配した2020年に、この課題に立ち向かったことを明確に示した。

- 所得グループ間で大きな不平等が生じた。
- 一人当たりの健康に対する支出は、すべての所得層で急激に増加。
- 私費支出が減少は保健サービスの利用減少を反映。
- 低所得国では、外部援助が引き続き重要な役割を果たす。
- 保健支出と保健アウトカムは、他の社会支出、特に教育と社会保護によっても形作られる。

2021年のマラリア患者数、死亡数は横ばい（報告書）

今年の世界マラリア報告書によると、アフリカ地域は、2021年に世界の患者の約95%と死亡者の96%を負担。WHOは、アフリカ大陸の国々がより強靱なマラリ

ア対策を構築するのを支援するため、抗マラリア薬耐性を抑制する戦略と、マラリア媒介蚊であるステフェンスハマダラカ（Anopheles stephensi）の拡散を阻止するイニシアチブの2つの戦略を開始。

HPV ワクチン：WHO ポジションペーパー（2022年5月）

この文書は、2017年のHPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンに関するWHO ポジションペーパー（立場表明書）を置き換えるもので「ヒトパピローマウイルスに起因する子宮頸がん撲滅」を加速する世界戦略の基本としてHPV ワクチン予防接種を子宮頸がん予防の第一の焦点としている。HPVによって予防可能な、より広範ながんやその他の疾患への適応外推奨についても考察し、最近の情報（新しいワクチンの認可、免疫原性および減量接種での有効性）も取り入れている。

WHO：医療従事者のための新しい家族計画および人工妊娠中絶ケアの「能力基準」を発表

WHO は、『プライマリーヘルスケア従事者のための家族計画・包括的中絶ケアツールキット』を開発しました。このキットは、国連のヒト生殖に関する研究開発・研究訓練特別プログラム（HRP）とWHOの保健人材部によって共同開

注) 本サマリーは、WHO発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



発されたもので、重要なコンピテンシーを明確にすることで、世界中の医療従事者と意思決定者が同じ高水準のケアを目指して努力することを奨励・支援する世界的なベンチマークを設定、家族計画や中絶のサービス提供に必要な態度、知識、スキルに関する共通の言語も提供。

ワンヘルス共同行動計画

WHOは今年（2022年）、他の四者構成機関である国連食糧農業機関（FAO）、国連環境計画（UNEP）、国連獣疫事務局（WOAH）と共に、ワンヘルス共同行動計画を立ち上げた。このアプローチは新しいものではないが、環境の側面は人と動物の健康の側面に比べて遅れており、食糧農業機関、WHO、国際獣疫事務局（WOAH）のワンヘルスの協力体制に、国連環境計画（UNEP）を加えたことが非常に重要で、COP27で強化された。

WHO パンデミック倫理・政策サミットの報告書概要

COVID-19のパンデミックは、前例のな

い世界規模での深刻な倫理的課題を提起。これまで、エビデンスに基づいた意思決定の重要性については多く語られてきたが、「倫理に基づいた意思決定」という点では何を達成したのか。このサミットが、パンデミックの予防、準備、対応における「政策への倫理」をよりよく理解し、改善するために、大いに必要とされる経験的、理論的、規範的作業の触媒となることに期待。

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジへの道

WHOとIPU（列国議会同盟）は、『ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)への道』ハンドブックを発行。UHCの理念実現のため、国会議員は、法律制定、予算編成、監督という中核的な役割を担い、国民とりわけ有権者のニーズに応えることのできる立場であり、「すべての人が必要な医療サービスを受けられるようにし、現在存在する著しい不平等をなくすことで、社会を変えることができる」役割を果たすことを支援することを目的としている。

グローバル・マネジメント・ミーティング（GMM）（テドロス DG 挨拶）

WHO75周年を目前に控え「今後5年間のWHOの5つの優先課題の実施に関する進め方を合意し、世界の健康課題の進展に伴う成果達成に向けて3レベルの共同作業を行う」と、2期目を迎えたDGの開会挨拶。

5つの優先P：Promoting、Providing、Protecting、Powering and Performing for Health

SRH/HRP ディレクターのメッセージ

HRPは「中絶ケアガイドライン」、「産後の前向きな経験のための母親ケアに関する勧告」、「セルフケアと家族計画に関する最新のガイドライン」などを公開。セクシャル・リプロダクティブ・ヘルスを、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジに統合する方法等が含まれる。

12月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。
<https://japan-who.or.jp/factsheets/>

- ・口腔保健 ・子どもへの暴力 ・障がい ・ヒ素 ・ジカウイルス感染症 ・チクングニア熱 ・マラリア
- ・人権(旧：人権と健康) ・UHC ・家庭の空気汚染



2023年、テドロス WHO 事務局長年頭挨拶（要約）

COVID-19 パンデミックの4年目に入った今、世界は数年前よりはるかに良い状況にある。しかし、COVID-19の脅威は依然として残っている。

今年はWHOの創設75周年であり、この歴史的な年に向けたWHOの計画について、WHO執行理事会で詳しく伝えしていく予定である。

「平和のためのグローバルヘルス・イニシアチブ」ロードマップ草案

健康（および健康への介入）と平和との間の既存のつながりを強化することを目的としたWHOのグローバルイニシアチブ。その概念・原則・戦略目標・目的の設定、活動の優先順位などを定め、GHPIの核となる「平和のための保健アプローチ」のプログラミングについても説明。健康の社会的決定要因に取り組むことを目的としている。

国連報告書：2021年、4.4秒に一人の子どもや若者が亡くなっている

国連子どもの死亡率推定に関する機関間グループによると、世界の5歳未満児

の死亡率は今世紀に入ってから50%低下し、それ以上の年齢の子どもや若者の死亡率は36%、死産率は35%低下。しかし、2010年以降、その成果は著しく減少しており、保健サービスの改善に向けた迅速な行動が必要と警告。

予防接種に関する戦略的アドバイザリーグループ (SAGE) 2022年10月報告

パンデミックでの予防接種サービス混乱は、続いており、その主な原因に対処してこそ回復が可能。麻疹・風疹イニシアチブの予防接種アジェンダ2030への統合は、予防接種プログラム強化のために未接種の子どもを特定して予防接種を推進するためのトレーサーとして最適に利用する機会となる。

顧みられない熱帯病に対するロードマップ「2021 - 2030の進捗監視評価指標の概要」

顧みられない熱帯病ロードマップ2030は、ターゲットとマイルストーンに対する進捗を測定するための推奨指標の包括的かつ標準的なリストを提供。包括的、横断的、疾患別に分類され、国レベルの進捗を測定するためのプログラム指標や、二次データを用いたあるいは一時的な研究のための追加指標など、3つの要素からなる。

伝統医学に関するWHO国際標準用語集

アーユルヴェーダ、ユナニ医学、中国医学は、共に世界中で最も一般的に応用されている伝統的健康資源。この標準用語集により、伝統医学の専門家から一般市民までが、同じ概念、理解、定義、記録を用いることができ、研究、情報交換、標準化、分類における国際協力を支援する。

電気がない、あるいは信頼性の低い電気のもとでの医療サービス実態（共同報告書）

WHOや世界銀行などによると、低・中所得国の多くの人々が、電力供給に問題がある医療施設でサービスを受けていることが明らかとなり、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成は困難と指摘し、太陽光発電システムなどに基づく分散型の持続可能なソリューションなどの早急な構築を提言。

WHOの緊急事態への備えと対応の強化：より安全な世界を共に構築するための10の提案（執行理事会暫定議題）

第152回執行理事会が開催され、「緊急事態への備えと対応の強化」ドラフトで10提案が公表された。

注) 本サマリーは、WHO発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



1. 「世界保健緊急事態評議会」の設立
2. 国際保健規則（2005年）の改正
3. ユニバーサルヘルス規模拡大とモニタリングの強化
4. 健康危機管理人材の強化
5. 保健緊急事態対応の戦略的計画
6. 安全でスケラブルなケア、医療対策アクセス、緊急時の調整などの強化
7. ファイナンスと医療強化
8. パンデミック基金を強化。
9. 迅速に拡張・持続可能な緊急対応資金拡大
10. WHOの、世界的HEPRアーキテクチャ・センター化

公衆衛生の向上に貢献した75年

世界保健機関は今年4月7日の世界保健デーに75歳の誕生日を迎えた。健康に対する権利は基本的人権で、誰もが、必要な時・場所で、必要な保健サービスを受容できなければならない。Health For Allは、平和で豊かで持続可能な生活を送るための良好な健康状態維持を目的としているが、保健分野の緊急事態、人道的・気候的な複合危機、戦争や経済的制約は、その道りを遠ざける。健康関連のSDGsを達成するためには、これ

らの進捗を加速させる必要がある。指導者は今こそユニバーサル・ヘルス・カバレッジの公約を果たすために行動を起こすべき時だ。

心臓病を引き起こすトランス脂肪酸の減少に向けて

工業的に生産されたトランス脂肪酸の摂取は、冠動脈性心臓疾患による早期死亡の原因となっているが、2023年の全廃という世界目標は、現時点で達成できないままである。WHOは、トランス脂肪酸を排除することを奨励。その進捗状況を確認するため、WHOとResolve to Save Livesは共同で「Countdown to 2023 WHO Report on global trans fat elimination、2022」年次現状報告を発表。

「結核検査室強化のための実践マニュアル」更新

WHOが推奨する結核診断の実施を支援するため、2017年発行の「GLI実践マニュアル」の更新版である「結核検査室強化のための実践マニュアル」が発表された。最新のWHO勧告に沿った内容となっている。

難民・移民の健康ツールキット

WHOは、ウェブベースのワンストップ総合プラットフォーム「難民と移民の健康ツールキット」を開発。公平で包括的な健康プログラムで、難民・移民と受け入れ側の人々の健康を促進する「国の健康計画・戦略の評価・強化」が可能となる。

放射線および原子力緊急事態のための重要医薬品リストを更新

WHOは、放射線および原子力緊急事態に備えるべき医薬品のリストを更新。2007年の緊急時対応国家備蓄に関する報告書に代わるもので、最新の放射線緊急医療の発展に基づいた情報。

顧みられない熱帯病（NTDs）に関する世界報告書2023

WHOは、「NTDsに関する世界報告書2023」と題する新しい進捗報告書を発表。

本報告書は、2030年までにNTDロードマップの目標達成の遅れを取り戻し、進捗を加速させるために必要な、より大きな努力と投資を強調。

1月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。
<https://japan-who.or.jp/factsheets/>

- ・インフルエンザ（季節性）
- ・フランベジア
- ・ブルーリ潰瘍（マイコバクテリウム・ウルセランス感染症）
- ・リーシュマニア症
- ・土壌伝播蠕虫感染症
- ・狂犬病